

K O 歌詞

全 作詞/作曲 オーノキヨフミ

Copyright ©オーノキヨフミ All Rights Reserved.

平凡

夢の上に続く道 長く長く続く道 この道を歩いたら 君が立っている気がした。
ふさぎ込んだ扉から 君がもしも出られたら ありふれてる心でもいくらだって飛べるのさ
おっと今でも 輝く星 見えるかい？ 遠いところで光ってる

平凡な数を数え 平凡な夢を探す 階段を上がる君は もう…そう…誰より美しい

昨日よりも明るくて 明日よりも鮮明な 今を生きる僕たちが 映す心のテレビジョン
おっと今でも 輝く星 見えるかい？ 遠いところで光ってる

平凡な空の下で 平凡な歌を唄う 経験を唄う君が 相当胸から離れない

おっと今でも 輝く星 見えるかい？ 遠いところで光ってる

平凡な数を数え 平凡な夢を探す 階段を上がる君は もう…そう…誰より美しい
平凡な地球の下で 平凡な顔をしてる 平凡な君のままで もう…そう…誰より美しい

ファンタスティック

三日月みたくうつむく君を 輝かせるネオンサイン
寄り道ばかり ふらりふらり 君の顔を思い出すんだ
ああ まばきをしてる僕の横で君は
ああ 嘘かもしれない 魔法みたいに 変わってくんだ

手の平に風 悲しみに海 君に太陽を！

MAKE UP ハニー ベイベ ファンタスティック 光るアイシャドウ
長すぎる夜 エスカレーターする 二人の鼓動は
MAKE UP ハニー ベイベ ファンタスティック もう止められない

戸惑いながら交わす視線 その仕草がロマンティック
優しく揺れる長い髪に やがて僕は吸い込まれる

ああ そのままでいてほしいと欲している
ああ 悲しいほどに君は綺麗になってゆくんだ

手の平に風 悲しみに海 君に太陽を！

MAKE UP ハニー ベイベ ファンタスティック 光るリップグロス
長すぎる夜 エスカレーターする 二人の鼓動は
MAKE UP ハニー ベイベ ファンタスティック もう止められない

手の平に風 悲しみに海 君に太陽を！

MAKE UP ハニー ベイベ ファンタスティック 光るアイシャドウ
長すぎる夜 エスカレーターする 二人の鼓動は
MAKE UP ハニー ベイベ ファンタスティック もう止められない

おはようマイライフ

電車の窓に浮かべた 景色を消し忘れたら 壊れそうな屋根に落ちる太陽
なじみの店を出てから しばらく歩いたけれど あたり前にもほどがあるマイライフ
あいつそクレイジー 大人になる一瞬を逃さないで 最初で最後のキスをして

まばたきの音が 聞こえるくらい 静かな
夜には 二人で ダンスをさあ踊ろう

嘘を嘘とも思わない？ 色を色とは思えない？ 本当は素直になりたいマイライフ
ああいつそクレイジー つながってる一瞬を忘れないで 無いもの同士をうめあうから

あたり前のステップで 呆れるくらいこのまま
行けるところまで一緒にさあ行こうよ
(かなり切なく But それもマイライフ 語りきれない Yes それがマイライフ)

ああいつそクレイジー すれ違って一瞬も会えなくて 二人立ち止まってしまっても

まばたきの音が 聞こえるくらい 静かな
夜には 二人で ダンスをさあ踊ろう
おやすみをしたら 朝には生まれ変わる
そこから ブランニューデイズ おはよう ブランニューライフ

カナブン

君の周りを飛ぶ虫は 鼻歌まがいのメロディーと
夏の終わりを振りまいて 高く高く飛んで行く

知りたいことはなんだい？君を怖がらせることはなんだい？
すべてを君におしえてあげる

ほら舞い上がったカナブンが 終わることないメロディーを地上の僕らに降らせるよ
君と僕にだけは 聴こえてる 聴こえてる

白く燃えてた雲間から のぞく放射を冷ましてた

ききたいことはなんだい？君を走り出させるのはなんだい？
すべてを君におしえてあげる

ほら舞い上がったカナブンが 終わることないメロディーを地上の僕らに降らせるよ

ほら舞い上がったカナブンが 終わることないメロディーを地上の僕らに降らせるよ
ほら舞い上がった 舞い上がったカナブンが メロディーを地上の僕らに降らせるよ
君と僕にだけは 聴こえてる 聴こえてる

あいつの春

雪どけ 揺れる ねこやなぎ 振り返らずに背伸びする
痛みなんてものが無い様な 顔で 遠い空を見てる

よろこび 笑い 泣き叫び 子供の様に ふざけ合い
やがて僕ら はなればなれに なって 同じ月を見てる

あこがれてる 存在には 愛の手を
立ち止まっている 君にも 愛の手を

当たり前の 毎日を 抱きしめて それでも少しは疑って
ものたりないならばみ出して この手を かざして また 生きてゆく

探してた物は 見つかったって 誰かがいつか 言ってたよ
変化なんてものは無いはず無いさ だけど きっと 会える

あこがれてる 存在には 愛の手を
立ち止まっている 君にも 愛の手を

ああだの こうだの 言っても 毎年 春は来る 君にももうすぐ会いに行く
思いのままを伝えたら この手を かざして また 生きてゆく

今すぐ君を抱きしめたいよ 春を待つ間 奏でる言葉は 愛

当たり前の 毎日を 抱きしめて それでも少しは疑って
ものたりないならばみ出して この手を かざして まだ 生きてゆく
ああだの こうだの 言っても 毎年 春は来る 君にももうすぐ会いに行く
思いのままを伝えたら この手を かざして また 生きてゆく

あこがれてる 存在には 愛の手を
立ち止まっている 君にも 愛の手を

TV ガール

生まれた頃から そこにいるから 不思議さ
いろんな歌がさ 流れ出すから 眠れない

どれだけ君にね 時間をあげただろうね
家族と離れても ここにいつもいるんだね

リモコン握る手の平 チャンネル覚えてる
外から見てるつもりが あらやだ抜けられぬ

TVガール 今日も見る 見たくも無い 番組を
支配される 見つめられる 一人じゃない 気がするから

派手なセット 君の顔 味気ない部屋彩る
灯りを消しても 君が照らしてくれてる

地上の電波受け取ってるのに まだ足りない
止めれば暗くなる部屋 心が耐えられない

TVガール 今日も聴いてる 聴きたくも無い 歌だけれど
流されてる 事を知っても 一人じゃない 気がするから

(All Through The Night They're Watching you
All Through The Night They're Watching you)

TVガール 今日も見る 見たくも無い 番組を
支配される 見つめられる 一人じゃない 気がするから
君が運ぶ 今日も運ぶ この世界は 嘘だけれど
TVガール 一人だけれど 一人じゃ無い 気がするから

ツバメグサ

僕は駅に立ち次の目的地を見る 小さなショルダーバックとギターをかかえて
今は旅の途中、古い汽車流れる街 僕は窓の外 白い雲を見てる

やわらかい音がする 僕は君を思い出す
汚れてる僕を見て 君は笑うかな

君が見えないくらい僕は遠くに着たんだ 悪い夢だったねと君は言うかもね

暮れる空起きる月 僕は君を思い出す
駄目になる僕を見て 君は笑うかな

車を降りた僕は 見たこともない草を見る はかなく小さく強い ツバメのような草
暖かい色の草 僕は君を思い出す
汚れてる僕を見て 君は笑うかな 君は笑うかな

Hey!Boy

Hey!Boy このまま僕は行けるとこまで進むつもりだ
How?キラキラしてる海の向こうへ
Hey!Boy 見えてるはずさ君の本当の裏の裏の顔
How?どのようにして僕をつかまえる

Hey!Boy いつかは君も大人になって変わってしまうよ
How?フラフラしてるくらげみたいに
Hey!Boy このまま僕は行けるとこまで進むつもりだ
How?さみしいけれど君はおいてく

僕は通り過ぎてった汽車の窓を覗いて見るけど何一つ目に映ったものは無い
そうか僕は知らない間に忘れてしまっていたんだ遠くに残していった君の事

Hey!Boy このまま僕は行けるとこまで進むつもりだ
How?キラキラしてる海の向こうへ
Hey!Boy いつかは君も大人になって変わってしまうよ
How?フラフラしてるくらげみたいに

僕は通り過ぎてった汽車の窓を覗いて見るけど何一つ目に映ったものは無い
そうか僕は知らない間に忘れてしまっていたんだ遠くに残していった君の事

Hey!Boy このまま僕は行けるとこまで進むつもりだ
How?キラキラしてる海の向こうへ
Hey!Boy いつかは君も大人になって変わってしまうよ
How?フラフラしてるくらげみたいに

ジュークボックス

言葉にならない言葉を言葉にしようとした瞬間 一瞬で輝きを失う
誰かが読んでたその本を読み返すたびに 心ぼやけて一瞬で眠くなってしまう

調子っぱずれのご機嫌ドラム 起きたばかりのしゃがれた声で歌うネジのはずれたピアノ
それでも僕の 僕の心には 涙が出るほどに優しい音楽を奏でてる

ジュークボックス 君の面影追いかけて あれ？ いつしか追い抜いて
ジュークボックス 後ろを見ると 気付いてしまう 魔法が解けたんだ

失いかけてた 物を失う時 その瞬間が来るまで まるで気づかないのはどうして？
僕らの住んでる 街のウラガワに 失う事の怖さを 隠して笑う奴がいる

新しい楽器に追いやられてる ボロボロの服着たままで 歌う楽譜もよめないギター
それでも僕の 僕の心には 涙が出るほどに優しい音楽を奏でてる

ジュークボックス 君の面影追いかけて あれ？いつしか追い抜いて
ジュークボックス 時計の針が 止まる様に今 魔法が解けたんだ

小指の先までにじむ 涙を流した時が過ぎる…

…ボックス 君の面影 追いかけて あれ？ いつしか追い抜いて
ジュークボックス 薄汚れても 年をとっても奏で続ける

ジュークボックス 君の面影追いかけて あれ？ いつしか追い抜いて
ジュークボックス 後ろを見ると 気付いてしまう
魔法が解けたんだ

クロワッサン

階段みたいに上がってく毎日 頭の中に秘密の隠れ家
会話を持って 無くなったプライベート嫌にもなるぜ 劇場でつぶやく

髪がからまってもっと せつなく… 手元はしらせてもっと 激しく…
ダーリン 僕がクロワッサンをつくるから 君は僕を 狂わせてくれないか いっそ…

ものほしくなる休みの午後 袋小路で僕の全てを隠して
ダイヤモンドのうざったい心で 季節の果てを感じてさあ！ナイトゲーム

今は化石のようだ 思い出 まるで気づかなかった いつから？
ダーリン僕がクロワッサンをつくるから あの日のこと 忘れててくれないか いっそ…

過ぎる苛立ちをもっと とかして… 殻のそこから 砕く 後悔の火…
ダーリン僕がクロワッサンを作るから 君は僕を 狂わせてくれないか

つかめそうな光

風が吹いていて 外に行ったら飛ばされる 僕は窓を開け ためしに空を飛んで見た
そんなふうにして 日々を素敵におくりたい 夢に帰るとき 僕はいつでも思うんだ
ふいに 何も できず わからず 迷う時も 前を向いていた
雨が降っていて外に行ったら流される 僕はドアを開け 流れにまかせおりに行く
そこで 他に 何が見えるの すべてを捨てて 意味だけを求める

きりがないように見えてかなしくても つかめそうで つかめなそうな
光が 僕を照らして くれる くれる

雪が降っていて 外に行ったら白くなる 僕は窓を開け 中まで白く染めてみた
人がいやだって思ってみたりするけれど それは無駄だって やっぱり僕も人なんだ
そうさ 今は調子が悪いんでしょ だったら明日 いいところ見せてよ

あとがないように見えて つまづいても わかりそうで わからなそうな
未来が僕をつれてって くれる くれる

楽しい思い出も つめたい世の中も 悲しい出来事も 流して

きりがないように見えてかなしくても つかめそうで つかめなそうな
光が 僕を照らして くれる くれる
いつかは 僕を照らして くれる くれる

風はやんでいて 雲がぽっかり浮かんでる 僕は外に出て坂をまっすぐのぼって

新宿西口摩天楼

巨大なステーション 多彩な出口 迷い込んだら ベイベーベイベー トリック
ガード下に座る屋台 覗き込んだらベイベーベイベー コロンブス

君の胸にはこのまま ちよいと乱れる鼓動がちょうどいい
あちらこちらに目移る ちよいと優柔不断なままでいい
思い出したり やめたり 乾ききったり 濡れてしまったり
いつも通りはありゃしない そんな変幻自在な君が好き

今夜夢など見ないで 車とばし会いに行こう 新宿西口摩天楼 抜ける
さらば故郷のムーンリバー 東京かぶれのカントリーロード
帰りたくはないけれど涙

つないだ指に光る未来 西へ東へ ベイベーベイベー トリップ
世界が僕を拒んでいても 君がいるなら ベイベイベイベレボリューション

立ち止まったらこのままちよいと微妙なビジョンがちょうどいい
浮世離れにコダクローム ちよいと曇ったレンズのままでいい
歌いだしたり やめたり 笑っちゃったり 泣いてしまったり
寝てもさめても駄目でも 様になってる可憐な君が好き

今夜夢など見ないで 車とばし会いに行こう 新宿西口摩天楼 抜ける
踊りつかれたサタディナイト スクリーンかぶれのソングフォーユー
帰りたくはないけれど…

今夜夢など見ないで 車とばし会いに行こう 新宿西口摩天楼 抜ける
さらば故郷のムーンリバー 東京かぶれのカントリーロード
帰りたくはないけれど涙

(街の灯りが僕らを誘い たどりつく地はいつでも同じ 恋に焦がれる東京の夜空
街の灯りが僕らを誘い たどりつく地はいつでも同じ 恋に焦がれる東京の夜空)

東京シティーライツ

当たり前快速の地下鉄に身をうずめたなら
置き去りにしたこの街のドラマが感じられるのさ
そこを抜けたら 目に映るは東京シティーライツ
憧れに似た思いを抱くのさ

HEY!ブルース！モノレールは今日も夜空を二つに分けるのさ
父さん、僕は今もここから世界を見てる…

隅田川には浮かぶ船たちのオルガンが鳴ったままで
忘れかけてたこの街のドラマに色を投じるのさ
そこを抜けたら 目に映るは東京シティーライツ
曲がりそこねたカーブを曲がるのさ

HEY!ブルース！モノレールは今日も都会を悲しく照らすのさ
父さん、僕は今もここから未来を見てる…

HEY!ブルース！モノレールは今日も夜空を二つに分けるのさ
父さん、僕は今もここから世界を見てる…

HEY 夜空のメロディーも ブルース 虚勢をはるのさ
父さん、僕は今もここから世界を見てる…

宝島

求めたものより 手に出来ぬものの方が
沢山あるのは何故？ 君はどれだけ手にした？
見たことある物 見たことの無いもの
沢山あるけど今 どれだけ気づいただろう

新しい場所がある 新しい風が吹く

この街は宝島 トレジャーハンターは僕ら
君との出会いも 明日の鍵も ここで見つけて見せるから

求めたものより 手に出来ぬものの方が
沢山あるのは何故…？

この街は宝島 トレジャーハンターは僕ら
君との出会いも 明日の鍵も ここで見つけて見せるから

出会って別れ 別れてまた出会い
塗りつぶし 塗り変えて 新しい絵を描く

この街は宝島 トレジャーハンターは僕ら
君との出会いも 明日の鍵も ここで見つけて見せるから

近未来少年

いつからか、少年は夢なんて見れなくなって
現実を生きる事にむしろ夢を抱いてたんだ
宝くじ買うやつも ミュージシャン目指すやつも
モデル志望も アイドル志望も 彼にとってはうとましいだけ

いつからか少年は夢なんて見れなくなって
自分だけは一生普通 普通なことがむしろ夢だけ
万馬券買うやつも 漫画家を目指すやつも
社長志望も 君のその目も 彼にとってはうとましいだけ

近未来少年は 夢を見るのを本当は 何よりもむしろ望んで…
現実を夢見るために 包帯もナイフも持たない 君の心は風の中…

いつからか少年は普通ではいれなくなった
誰よりも何よりも普通な僕が欲しかったのに…
目に見える葛藤を 壊してしまう僕の手…
友人たちも携帯電話も彼にとってはうとましいだけ

OH ベイベー 本当は 君の中には本当は 寂しさと涙がいっぱいで
悲しみをまぎらわすように 夢見る事をやめていた 君の心は砂の様…
改札口を出たら 雨なんて気にならない 頼みの君は僕の名前も知らない
この便利なアイテムはシークレット 悲しいほどにシークレット
生まれ変わったらとか言うなよ…

近未来少年は 夢をなくして本当は なによりもむしろ不安で
近未来少年は 届かぬ夢を本当は 追いかけて 追いかけて 追いかけて
逃れても のみこまれてく 時代の海に流されてく
行く先は未来 止まりはしない

DAY DREAM

あの街の向こうにのっかってる空が 青すぎて出かけたくなった
ついに見つけたからと 君を残して僕は荷物をまとめて旅に出た
僕はわかっていたんだ きっとわかっていたんだ 何処まで行っても着けやしない
だけど僕の心の隙間をうめるためには十分すぎる時間だったんだ

夜明けみたいに真っ白な心のままで 僕は進化をとげる
何も無かった頃の僕だって 笑って 目を細めてる

君の夢見たものと僕のえがいたものは少し違ってたかな
人のつながりなんてちっぽけなものだって言ったら終わってしまうよ
あの街の向こうにのっかってる空を君に見せたくなくなった
僕のほっぺたが少し 風に打たれて少し赤く染まっていった
空を飛ぶよに 真っ白な心のままで 僕は進化を遂げる
痛みなんかは感じなくなってそのままからまったままで 進む…
空を飛んでる君とそれを見ている僕が 猫になってる君と犬になってる僕が

真っ白な心のままで僕は進化をとげる
何も無かった頃の僕だって 笑って 目を細めてる
止まらない事を知っててもまだそこで 目を細めてる

ショックキングエクスプレス

隣同士の夜と昼のはざまを　さまよう君は　平凡な歌を唄ってる
HOW? 退屈してる? HOW? 僕もそうだよ

いつもどおりの景色だけじゃ足りない　思ってるだけそれじゃどこか切ない
HOW? 探しに行こう　HOW? 見えるはず　さあ目をあける

ショック! 君と飛び超える　ショック! 毎日の迷路
心の扉を開けば　超えて行ける
ショック! 君に街中の夢を見せよう　愛と驚きが走り出す

丸い地球の果ての細い島で　僕らは生まれ何回も繰り返してく
HOW? 君は見たかい　HOW? 叫ぶ様なブルー
それなりの事をそれなりに映すこの目を
ざらついた砂を通さずに匂うこの鼻を
僕ら　それで満足さ!? NO! 本当は隠れて泣いてる

ショック! それは簡単なのさ　ショック! 世界国境越えて　君の涙の形を　描けばいい
ショック! 君に街中の夢をあげよう　それはかけがえのない発見さ

うつろう様に迷路　抜け出していたよ

ショック! 君と飛び越える　ショック! 毎日の迷路　心の扉を開けば　超えて行ける
ショック! 君に街中の夢を見せよう　愛と驚きが加速する
ショック! 飛び越える　ショック! 夢の列車走る
どんなに僕らを追っても　追いつけないよ
ショック! 君に街中の夢をあげよう

Copyright ©オーノキヨフミ All Rights Reserved.